婦人新報

二月號

第貳百五拾九號目次

□英文　ブラックモーア
□公娼全廢論（懸賞論文）　門田武雄
□弔故廣岡淺子女史　守屋東
□迷信打破の栞　三輪田元道
□病床の廣岡刀自　小橋三四子
□シベリヤに三姉を送る　記者
□家を持たんとする若き人々に　淺田みか子
□偉大なる時代の進運　久布白落實
□友、廣岡淺子女史　矢島楫

基督教婦人矯風會

産婦人科
小兒科
女醫 吉岡彌生
△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後
產室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず
東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

□婦人新報定價（郵稅共）
一年分（前金）金壹圓也
半年分（前金）金五拾錢也
一ヶ月分 金九錢也
（郵劵代用一割增）
□廣告料
一行（五號活字）金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也
振替口座東京三二四六九
編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正八年二月九日印刷
大正八年二月十日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 藤井孝
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地
婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

No. 259. February, 1919.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

1. Our Friend. Madam Hirooka ... Madam Kaji Yajima.
2. The Grand Advance of the Age... Mrs. N. O. Kubushiro.
3. To those who are going to make Home ... ... Mrs. M. Asada.
4. Three Ladies who go to Siberia ... Auther.
5. Break Donn the Superstition ... Mr. G. Miwata.
6. The Late Madam Hirooka ... ... Miss A. Moriya.
7. The Totol Aboliton of and Licensed Vice... ... ... Mr. T. Kadoda.
8. From the Editors Desk .. .. A. M.
Reports.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,
Tokyo, Japan.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

友、廣岡淺子女史

會頭　矢島楫

□日本女子大學校の母

年の初めに先つ私の心に與へた出來事の大なるものは、友としての廣岡さんを失ふたことで御座います、私にとつて大なる友であり、會にとつては實に親切な指導者でありました、二人とない友でありました、女史が如何程私共の會を愛されたか——それは實際 私としては感激して居ります、公平な女史が只一途に人としての婦人の向上を願ふ心に誰彼の別なく心を盡し勞をしまず敎へられた事は私共婦人として實に有難い事と思ふて居ります、顧みれば初めて我國に女子大學が生れ出づるに至つた其原も、女史の心に漲つた「婦人の覺醒」といふ一點より、成瀨氏の女子敎育論を認め世評の囂しき中に立つて一歩も讓らず、識者を立たしめ富豪を動かして、其基礎を作られた其力 其志は今は靜に往時を追懷して明に記憶する私にとつては、女子敎育界に決して忘るゝことの出來ぬ第一人者として女史を偲ぶので御座います。

□其人格を全うす

經世家としてまた實業家として女史を只婦人なるが故に偉大といふ言葉を冠するのでなく、男子といへども容易に出づる事なき人物として私は女史を敬ふて居りました、然るに其晩年に至り斯く迄に傑出された人物ながら凡ての基はキリストの精神によらねばならぬと自覺され研究されて、遂に潔ぎよく神の前に己が罪を認め甦生して眞に幼子の如く眞率に修養を積み、朝夕神に交はられたことは、其人格を全ふするに至らしめたものであると信じます、女史は常に時代より一歩先に進まれた方でありました、私は決して廣岡さんを玉の樣な人として貴づることはできません、常に一貫した自覺の人、成功せねばおかぬといふ奮闘的な人、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

強い人であつたと思ひます、強いだけまた脆かつたと思ますこんなに早くおなくなりになるとは思ひませんでした。批難すれば無理があつたと思ひます、然し其時勢は無理をねがはねばならなかつたのです。

□識つて下さつた

女史が他人の會である私共の會を見て下さつたといふ事は實に涙が出る程有がたいので御座います、過去六年間各處に開かれた大會に、女史は必ず御出席下さいました、そして懇ろに會を見て下さいました、一場の演説をなさつて下さる以外の時は、議事の時も懇談の集りにも支部代員と全く等しく其席に出で親切に會を見て下さいました、何等發言權をも求めず、無言て會を愛して見て下さいました、充分に研究して識て下さつた女史は、忠實な批評と忠告とを與へて下さいました、眞の友で御座いました。

□語るべき友を失ふ

私は會を起して以來常に心の内に行き通ふ思は

語りあふ友こそかたき世なりけれ
一人雨きく秋の夜すがら

實際語つて共にせんといふ友は婦人にありませんでした、有爲の人は青年であつたり、家を持つて居たり、賴りに思ふ信者の間にあへ贔負分に「幼稚なものが爲損じがあつてはならないから」と案じられて反對され、正面から反對する人々は狂人と蔑して排視し、釈類からは「昔人で修養も積まぬ者が、習はぬ經を讀む」といふて妨たげられました、誰れよりも同情深く引き立てゝくれました德富の姉にさへ憲法發布式の當日開く演說會の準備に走せ廻る時車から落ちて大怪我しました事を以て「やめよ」とすゝめられました、かくしてすごして來た私は廣岡女史を識り初めて語る友を得ました、其交際は誠に淡いもので御座いましたが、見て下さつた事と識て下さつた事に於て實に滿足し感激して居るので御座います、一日二階の私の室に見舞はれました時、私は勞れて床にをりました、女史は寢臺の近くに立たれて「矢島さん病氣でも何でも差支なし生きて居つて下さいと——」握手して歸られました、生きて居よと殘した人は早や逝きて十五も老た私が永らへて居ます、生死は全く私共の手に御座いません偉なる語るべき友を天の住居に送つた私共は父の住居にやがて行く其日まで悔なき働きをいそしまねばなりません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

偉大なる時代の進運

幹事　久布白落實

□時代の進運

熟ら考ふる時は、此頃のやうに、時代の進運の著しく目立つ時は有りませぬ。講和大使等は集つて、數十年來人々が夢みて居つた、國際聯盟を兎にも角にも造り上げんとして居ります。封建の藩が倒れて國家が出來た時の如く、私共は各立つ處にて地響きを感ぜずには居れませぬ。各國の軍備が、世界警察權となり、相互の戰ひが國際公法によつて處理せられ、世界聯邦の實が擧がらんとする、今日の大勢を見る時は實に一種偉大なるものに打たれざるを得ませぬ。

□普通選擧

新紙の報ずる處に依れば二月十一日を期して、我國に於ても普通選擧の大運動が行れんとして居ります。普通撰擧は、國民が政事の事はお上がなさると云ふ、お上根生を脱して、始めて國家は我がものなり、國政は我等の責任なりと感じた、其心の現れです、開國以來既に半世紀を過ぎ、この世界の大潮流の寄せ來るまで何等の聲を擧げなかつた我民族を、私は寧ろ齒痒く思ひます、國家は我がものなり、國政は我が任なりと云ふ事は日本國民として當然心得可きことです、知らしむ可らず、頼らしむ可しの遣口は未開時代の遺物です、全國民は擧つて國家を荷はねばなりませぬ、故に先づ國家を知り國政を知らねばなりませぬ、普通選擧は或ひは正宗を小供に與ふるの感を有つ人々が有るかも知

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れませぬが、私共は斷の一字を以つて之に對し國家の權利と責任が全國民に解放せらるゝ日の一日も早からん事を切望するものです。權利と責任有る處には自重と自覺が伴ひます、普通選擧は全く立ち遲れせる我民族を敎育する唯一の方法と申さねばなりませぬ。

口價値ある働き

オリブシユライネルは、其著の內に、婦人運動の全部を一括して、我等に價値ある働きを與へよの一言に盡くると申て居ります。古代男子は日夜戰ひと獵とに其一生を過せし時は、女子は耕し、耘り、織り、料理して一家の衣食住を調へました、男子も生命だけ、女子も生命がけ共に人生の勞苦を別つて、そこに何等の不平もありませんでした。中古少しく戰ひやみ、平和開明の世界となるに及び、男子は農、工、商として外に働き、女子は裁縫、織物、料理、掃除、洗濯の勤勞に服して互ひに相助け又爭ふる處が有りませんでした。然るに近世に到り、歐米の世界を見るに、機械工場の激增は、織物を悉く家庭より奪ひとり、衣服も買ふが遙か安く、食物すら店にて買ふが便利と云ふ勢で、ランプ掃除も入らず、味噌醬油造る用もなく、有ゆる働きは家庭から奪ひ去られました。勞苦なき人生は無意味です、無爲に苦しむ婦人等は、もがき始めました。子供を追ふて學校に其敎育の働きを見出し、女敎員の數は激增しました、織を追ふて工場にゆく、女工の數は幾數十萬を數ふに到りました。店を追ふて商店に入り賣娘となるあり、病者を追ふて看護婦となり、婦人は續々家庭より社會へ其歩を運んで居ります、之れが今日の現狀です、價値有る勞働、心骨に徹する勞苦、人は之れなくしては、人生の權威を失ひます。

口軛を荷ふに足るもの

軛を負ひ――二頭の牛、之れが人生の縮圖です、一方が立つて、一方が座つては用を爲しませぬ、今日全世界に渡る偉大なる婦人運動は、男女を之の一軛にせん爲めのもがきです、家庭におき、社會にをき、國家におき、男子の勞する處に婦人も勞し、男子の苦しむ處に婦人も苦しむ爲めです、婦人の職業と云ひ、婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の自覺と云ひ、教育に政事に農業に工業に有ゆる方面に婦人の解放、婦人の活動を見るは、人たる男子に伴ふ人たる女子が生れつゝ有るに外ならぬ時代の進運と見ねばなりませぬ。自覺と活動は今日の女子の進む可き途です、之れを我が友とし軛の道連れとなすは男子の勤です、我國の婦人運動は今後更らに一段深き根底に立つて、我國民の半身なる婦人を、職業においても、地位においても又々其權利責任に於ても軛を荷ふに足る一箇の人として凡べての社會に立たしむる方針に向つて進まねばなりませぬ。

四、□官民共同の時代

食料問題は、生活の保證を得んとする萬人の蠢動です、近時社會主義解放の運動なる文字を新誌の上に見ますが、健全なる意味に於ける社會主義は、勿論解放すべきものです、働くもの丶其食を得ざるは決して天理でも人理でも有りませぬ、今日中産階級の困難なる狀態は、其子弟をして敎職、官吏等より追ふて、會社、銀行に走らせます、食料問題は今や農家と商人の中に止らず、國家の大問題、社會の大問題となり、政事家宗教家に到るまで、之れを其問題と爲すに到りました。米が足らぬと云ふ一事でも若し各家庭に米食半減、若しくば三分の一減の方法が行はれ、又、全國釀造米禁止が行はるれば容易に解決する事が出來ます、食料の問題も箇人と國家が相提携して行ふ時は案外容易くこれを處理する事が出來ませう、此方面に於ては、更らに我官民共同時代の進運に伴ふて行動する覺悟が無くてはなりませぬ。

五、□男女間の新傾向

男女の問題は亦、時代の進運に於て是も著しき一つの運動です、私共は一概に男女間の新傾向を排斥する事は出來ませぬ、同時に舊道徳を完全として受くる事も出來ませぬ、男子と女子の交りは、人類の最も純潔高貴なる生命の源と爲るべきものです。此處に金錢の如き、名譽の如き地位學位の如き金箔をつけ、壓迫を加へて、其愛を不純ならしむるは生命の源を汚す罪と云はねばなりませぬ、今後の結婚は、純潔なる戀愛が中心となつて、理性の導きの下に行はれねばなりませぬ、結婚前の男女を解放して、自由に交際する機會を與ふる事は當然爲す可き事と思ひます。

米國加州大學の如き、二千の男生、二千の女生徒です、日夜同じ敎室に、同じ敎師の下に學び、音樂に戲曲に共同してやつて居りますが、少しも亂れを感じま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せぬ、男子も人として力を練り、頭を錬つて居ります、女子も人として力を練り頭を錬つて居ます、中學を出づれば、男子は紳士として家庭に於ても社會に於ても待遇せられ、女子は淑女として同じく家庭に於ても、社會に於ても待遇せられます、相互に人格を認めて自由に交際を續けます、若し其間に戀愛の成立たんとする徴候ある時は、父母友人は默して其成長を眺めます、其内に危險あり、不明ある時は折を見て靜かに警告を與へます、然し多くの場合、園に在る若芽の如く遠くより保護して、靜かに其健全なる發育を遂ぐるに任せます、斯く信頼せられ、且つ賢く保護せらるゝ男女は、多くの場合比較的健全な結婚を以て終ります。男女の關係は人類史中最もデイリケートな頁たるを失ひませぬ、白雪の如く純潔なる可きものである丈け、其汚れも亦一層目に立ちます、公娼制度の如きは實に動物の制度です、今日の社會では動物でも、之れ程慘酷な待遇は受けて居りませぬ、私共は先づ我國の史上より之の大汚點を除かねばなりませぬ、然し改革は一歩一歩です、私共は先づ制度として國家的に人身賣買の實行を禁止し、肉體賣買を營業と認むる事を禁じ、我が國民に男女の關係に對する一大覺醒を與ふるを以つて手始とし進んで、新らしき結婚法、新しき男女の交際法を純潔にして高貴なる、眞の夫婦の理想を到る處に實現せねばなりませぬ。

六、口人類の價値

斯くの如く國際聯盟と云ひ、普通選擧と云ひ、衣食住の解決即ち社會主義解放と云ひ、婦人運動と云ひ又男女の關係と云ひ、地の底より動き出して、いづれも人をして火山の噴火口に立つ思ひを抱かしむるやうですが、要するに偉大なる時代の進運を形成する各自の問題で、其根底には人類の價値と云ふ一大眞理が形を爲して現れ來つた事を悟らねばなりませぬ、私共は世界の一員とし、國家の市民として、女として民間の一人として有ゆる問題に目を醒し、キリストの仰せられし如く時の非を判別し得るものとなつて神國の樹立に勵み度いものと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家を持たんとする若き人々に

淺田みか子

□子供の體育、智育、德育

子供の教育法を書くに當つて、これを體育、智育、德育に分ちて書いて見たいと思ひます。嬰兒時代より幼稚園時代までは、體育が重で、智育と申しましても、玩弄品や繪草紙に依つたり或は幼稚園の日課位で宜しく、德育と申しましても、正直、質素、清潔、規律、位を簡單にして大體を敎へる位にとゞむべきで、これ等はこれまで號を逐ひて申したほどに止め、これからは小中學時代の體育と智育と德育とに就て申して見ませう。

□小中學校時代の體育

食物の事、小學校時代の子供は、食物に好き嫌ひが大變にあるもので、兄弟のうちでも、全然反對の嗜好を持つて居る場合が御座います。例令へばある子供は肉、玉子、馬鈴薯、甘藷、里芋、魚の鹽燒、刺身の如きものを好み、煮魚、野菜類を嫌ひます。然るに他の子供は、野菜類を好み肉類を嫌ひます、といふ風で、小學時代の子供には實に食物の好嫌が著しいので御座います。中學時代になりますと、此好嫌が漸々止みまして、大抵なものは食するやうになりますから。嫌いなものが種々あるといつて、父母はこれを無暗に叱らずして、其好む處のものを調理してやると宜しいと思ひます。或は『食物の好嫌をいふなど贅澤である、何でも食卓に出たものは忍んで食べなければならぬ』と叱り飛ばして、よし箸を付ず御飯のみを食して居つても、かまはぬといふ風にするのは少しく氣の毒のやうに思はれ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。如何となれば、子供が嫌ひなものは此子供の身體を養ふに不必要で、其好む處は必要な故であると思はれるからであります。

其故は野菜のみを好む子供は其野菜のみにて立派な肥えた體格となり、肉類、芋類を好む子供は又其食物にて強健な身體を造つて居ります。故に母親は面倒でも其子供等の要求するもの卽ち好むものを調理して與へるやうにしても、中學時代卽ち十三四才までの事ですから、其意に從つてやりたいと思ひます。

食物の種類　食物は消化し易きもの、滋養あるものと、さう細心に撰ばなくとも、大抵の食物は宜しいと思ひます、只餘りに不消化なものを大量に取らせる事と、害あるものを與へさへしなければ運動の十分なるに依て消化するもので御座います。却て少しは堅きものも十分歯にて嚙み碎くことを得るものならば歯牙を强めるためには結構だと思ひます。都下の子供はお菓子を多く食するが故に、歯が惡るく大抵の子供は齲歯に苦しみます。田舍で甘藷の切干や、勝栗や椎の實などを食して育つたものは、至つて歯牙が丈夫で、滅多に虫歯に惱むことが御座いません。隨つて歯並びなどもよく揃つて居ります。ために胃腸も丈夫で、身體健康の基を形造ります。

衣服の事、衣服は幼稚園時代の子供と共に洋服を用ふるの利益であることを前々號に申しておきましたが、若し男の子供が歸校後、和服を着る場合には、紺絣の單衣を上に着せておき、如何程自由に運動しても汚れても惜しげのないやうにして、破れたら繼いでやり、汚れたら洗つてやるに容易いやうにしておきます。此時代は大抵四ツ身を着て居りますが、仕立てる時に簡單なのと前の廣きを利益として、衽を縫はぬやうに致し、筒袖の縫ひ目のねかしも、外の方へねかすやうにすると、臂の所が厚くなつて、破れを防ぎます、且つ手を曲げる時に、厚ぼつたくなくつてよろしう御座います。併して成るべく輕裝させて羽織など着せなくても習慣となれば寒いものでは御座いません。此寒中雪の中にも宅の男の子供等の服裝は、襯衣、襦袢、綿入の三枚のみで羽織を出してやつても着ませんし、ヅボン下をやつても着けません、只洋服を着る時のみ着けます。多く身に纏ふのは五月蠅くてたまらないと見えます。却て風邪にも犯されず健康で御座います。厚着をさせることは、よくないことゝ存じます、皮膚を弱くし運動を妨げ、遂に病身と致す基となります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

住居の事、住居は成るべく郊外の空氣の良き處を撰び、學校へは十町位徒步して行かるゝ處が理想と存じます。庭は許す限り廣きを欲し、家は出來るだけ便利と清潔と愉快とを望みます。客室に面する處には、人工的の庭を要し子供室に面する處には自然的な運動場が欲しいと思ひます、若し兩者を兼ねることの出來ない餘地が御座いませんならば、運動場を造りたいと思ひます。子供等の健康は其家庭の最大なるものであるからであります。

私の知つて居る家に、正反對の二軒の家が御座います。一軒は大人本位の家で御座います。子供は十六歲の男兒を頭に七人にて多くは男兒で御座います、四百坪許りの地所に百坪ばかりの家が建つて居ります。周圍の庭には、樹木を植ゑ、花を造り、垣根を結ひ、少しく餘つた地所には貸屋を建てなどして、子供の運動場とては寢室の椽側の前に二三坪あるばかり、其家に鞦韆一つを拵へて與へたるのみ、鬼ごつこしたくても垣根や建物の關所ばかり多くて出來ず、鞦韆も飽きはて、室内を走り廻ると、お父樣の御目玉で、隅の方にすくんで仕舞ひます。此家は醫者の出入りも多く平生混雜して居ります。或る時此貸家の人が赤痢病を患ひたるが傳染して遂に四兒は入院致しましてとう〳〵一兒は死んで仕舞ひました。貸家を建てる前に忠告する人あつて、貸家など五月蠅いから運動場におしなさいと申しましたが、聞き入れませんで此禍を招きました。見渡す處此家の子供は、どうも元氣が御座いません、あまり畏縮させて仕舞つたものと見ゑます、庭園と同じく、子供など眼中に置かず、すべてが大人本位であるからであらうと思ひます。今少しく子供の權利を認めてやつて欲しいものです。

他の一軒は全然子供本位で御座います矢張り六七人の子供が御座います。御邸宅も地坪四百坪建坪百坪位御座いますが、家を一方に片寄せて建て、運動場を廣く取りました。南の方の日向り能き運動場には芝を植ゑ、機械體操、鞦韆、テニスコート、大弓場等をこしらへ、夏の日陰のために、まばらに靑桐を植ゑてあります。家の周圍は徒競爭の出來るやうに關を設けず。子供達は學校より歸ると、皆此運動場に出で、好むものに依て自由の天地に遊びます。機械體操に昇るあり、ブランコに揺られるあり、芝の上に相撲を取るあり、競走するあり、暫くする大弓に移りテニスに集ります。人工的の庭を眺めて居るよりも、此活動を觀る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

こと如何ばかり愉快で御座いませう。遂に父は出でゝ相撲の相手となり、母はラケットを取つてテニスに加はります。一家擧つて相樂む聲は、邸外に溢れます、健康の神は來つて一家を祝福し、平和の神は一家の團欒を助けます。故に此門には醫者の入ること一年中殆どないといふことで御座います。

住宅の事、住宅は清潔にして、室内の器具整然と配置したる中に、一家族規律的に活動する、休息する、團欒するといふ空氣の中に、子供等を生活せしめ、彼等に居室を與へて、其室を各自整然たらしめ、掃除より裝飾に至るまで、己が意匠に依てなさしめ、歸宅して其室に入るを樂しみとし愉快に感ずるやうに致したいもので御座います。此目的に於ては下よりも二階の方が宜しいと思ひます。二階は勉强するにも靜かであり且つ一寸窓外を眺めても、遠く天外を望むを得るのみならず、處に依ては、朝たに雲間を出づる太陽の壯觀を仰ぎ、夕べは山の端に入る日の殘紅に、塒を急ぐ烏が飛びかふ樣を眺めて、優秀なる作文を草することも能ようと思ひます。

狹き家のごた〳〵した茶の間の隅などに机を置いて家人の談笑に心を散らし、幼兒の惡戲に大切の草稿を破られたり、窓外に樹木の根ばかり見て居つては、迚も快活な大文章は作られまいと思はれます。

故に父母たるものは虛榮心を捨て質素儉約を旨として多少の財を作り、子供等が勉强室の必要になるころには、よし敷地は借りるとも、自時の住宅を理想的に造つて、理想的に子供を敎育し、親たるの本分を盡したいと思ひます。——住宅の設計に就ては後に委しく書くつもりで御座います——

十分なる睡眠、小學校時代は十時間より九時間位の睡眠は必要と存じます、朝六時に目を覺ますならば夜は八時には就眠せしめ、少しく成長すれば夜は九時頃寢室に入らしむるを適當と存じます。中學時代も八時間位は眠らしめたいと思ひます。朝六時に起るとすれば夜は十時に眠るわけとなります。睡眠は身體を健康にし、頭腦をよくするに大切なもので御座います。

十分の運動、これは學課に妨げなき以上は時間を多く運動に費さしむるを必要と存じます。碁や將棊に耽つたり、骨牌に時間を費したりするよりも、戸外に於ける遊技を奬勵いたしたいと思ひます。

以上述べしことは、まづ小學校より中學校時代の子供等の體育に大切なる大略であると存じます。(以下次號)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

シベリヤに三姉を送る

記者

各人の祈はきかれていよ〳〵來る二月八日敦賀出帆の鳳山丸で林歌子、クラゲット女史、宮川靜枝子の三姉をシベリヤに於ける日本婦人の狀况視察の途に送るのです、現代に於て我國では公娼制度の廢止が婦人問題を解決する第一歩であると高調し指導し寢ても醒めても其事に打ち込んで働かるゝ久布白幹事の一念は、遂に三姉を送るに至つたのであります、久布白幹事は云ふ、「佛蘭西は表座敷、シベリヤは裏口、表座敷は淸潔だか裏口には掃溜が引ツくり返つて居る、各國の人間が其裏口を覗いてゐる。私共日本人としてそれを掃除するのはあたりまへです、」又曰ふ、「美しい娘が問ふ人もない一基の墓標と化して其身も魂も腐らせてしまふことは私共同胞姉妹として堪へられない事であります。」

送る三姉はウラジオに上陸後はハバロスク迄の間を視察し出來れば北滿から南滿に出て大連から歸朝さるゝ順序になつてゐます、時は正にシベリヤ嚴寒の候、零度以下四十度の日も決して少なからずと云ひます、どうか三姉が健康を以て充分視察し通信され報告される事を祈ります、其視察報告の結果によつて彼地に救

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

護所を設立するに至るかも知れません。私共は正午の祈禱を三姉の爲に神の指導と守護を祈る時と定めました。

□初陣の前日

宮川静枝

それは一月廿五日の事でありました。私が晝の食事をしてゐると、守屋先生がお見えになつて「お濟みになつたら一寸お話したい事があるからおいでになつて下さい」との事でありました。それから暫く、私はどんなお話なのだらうと愼んで待つて居りました。

「大變突然でお氣の毒のやうですけれ共シベリヤに行つて頂き度い、實は私が推薦したんです、矢島先生に申上げて見ましたところが、それは結構でせうといふ事ですし久布白さんも實に結構との事ですから、どうです行く氣はありませんか」との事でありました。此の驚く可く突然の事の如くに見えて而も決して突然でも偶然でもない此の宣言とも見るべきものを承つた時、私の心の中には既に命に起つ用意が出來て居りました。

けれ共兎に角午後四時迄に考へて返事をして呉れるやうにとの事でしたので、私は日頃の自分に再び立ち歸つて自分の中及び周圍を見守りました。

するとそこには私の決心を困難にするやうな事が可なりありました。即ち、私如き無經驗なる者に優りて極めて適當なるそうして熱心盡瘁してゐらるゝ方々のある事、此の旅行に關する費用の出所又は性質から見て、たとひそこに將來の問題があるにしろ若年の者が行くといふことは相濟まないやうに思はれる事、殊に此が只に矯風會のみならず他の團體から出るものとすれば猶更にそう思はれる事などでした。又私の健康

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に就てもよく考へなければなりませんでした。

然し、一度打ち下された鐵槌はゆるぐ可くもありません。私は種々と考へた末にも「行く」と決心いたしました。

神の攝理はどこ迄奥妙に奇しいものでございませうか。私は自分の過ぎ來し方を眺めて御手の導きの美妙さに心打たれる一人なのでございます。神は時に年若き者をも召し給ふ事を感謝しなければならないと思ひます。私は此の年は正月から二度病氣致しました爲め靜かに考ふる事を得ました。そうして胸の底には信んじてゐるものがありながら、渾沌としてゐる思想の中に育つた者の哀れさには、小さな自分から脱れる事が如何にも六ケしいのでございました。けれ共そのために靈が涸れるやうでは致し方がありません。私が三年の沈默を破つて靈の叫びを聞き、同じ人間としての運命を持ち乍ら挫かれ虐なまれる靈の多い人間の社會に踏み出さうと思つてゐた矢先、私は此を單なる機會だと思つて居りません。凡ては主知り給ふ。主に任かせまつりて出かけます。

幸にして今迄の境遇は私になくてならぬものを與へて呉れました。又私の心も體も囚るゝ所がございません。私は自由な心を以つて主の導きのまゝに使命を全うしたいものと考へます。

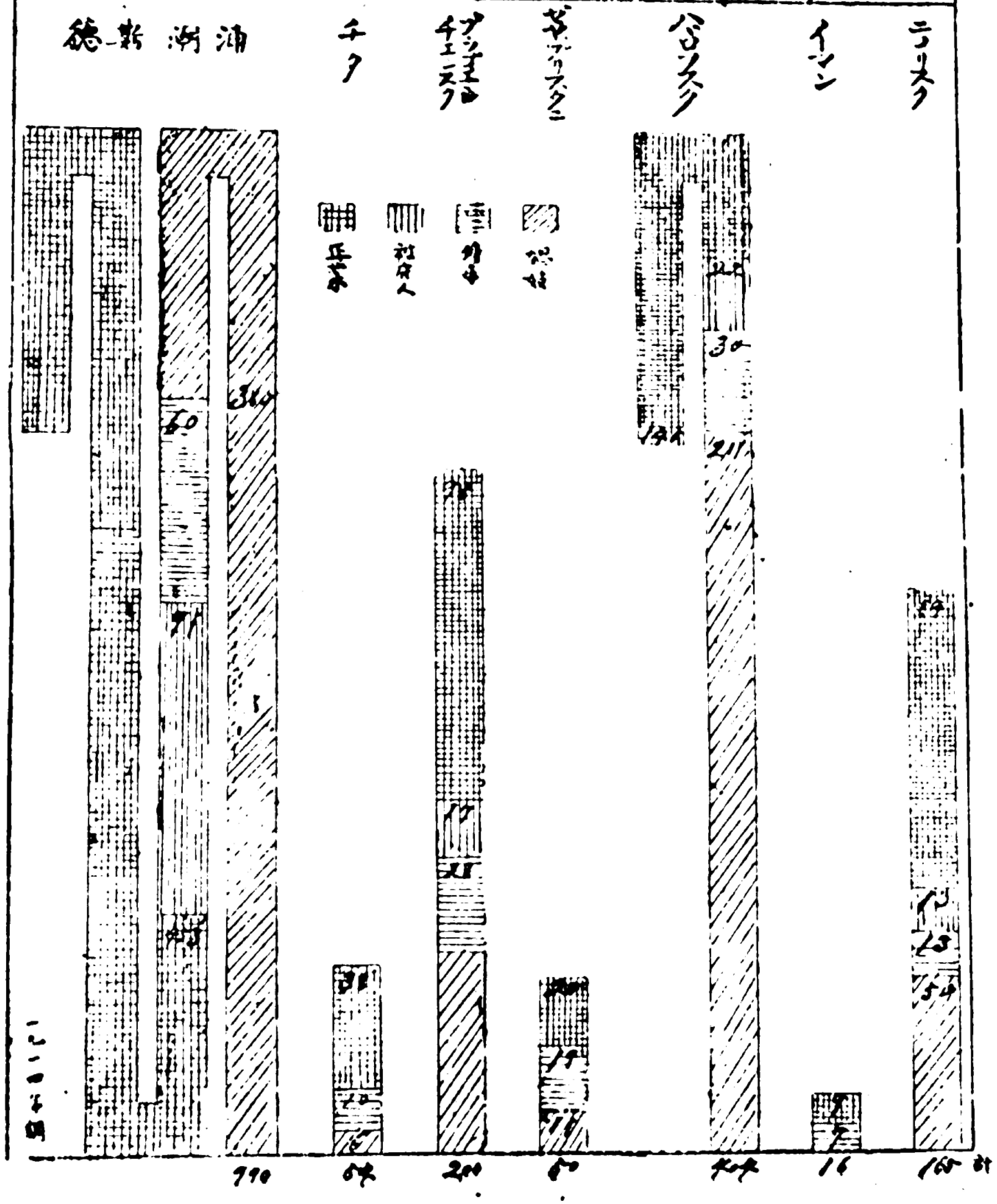
愈々明日は東京を出發いたします。皆様の御健在をいのりつゝ出で行く心の一斷面を認めました。

□シベリヤ各地にある日本醜業婦□

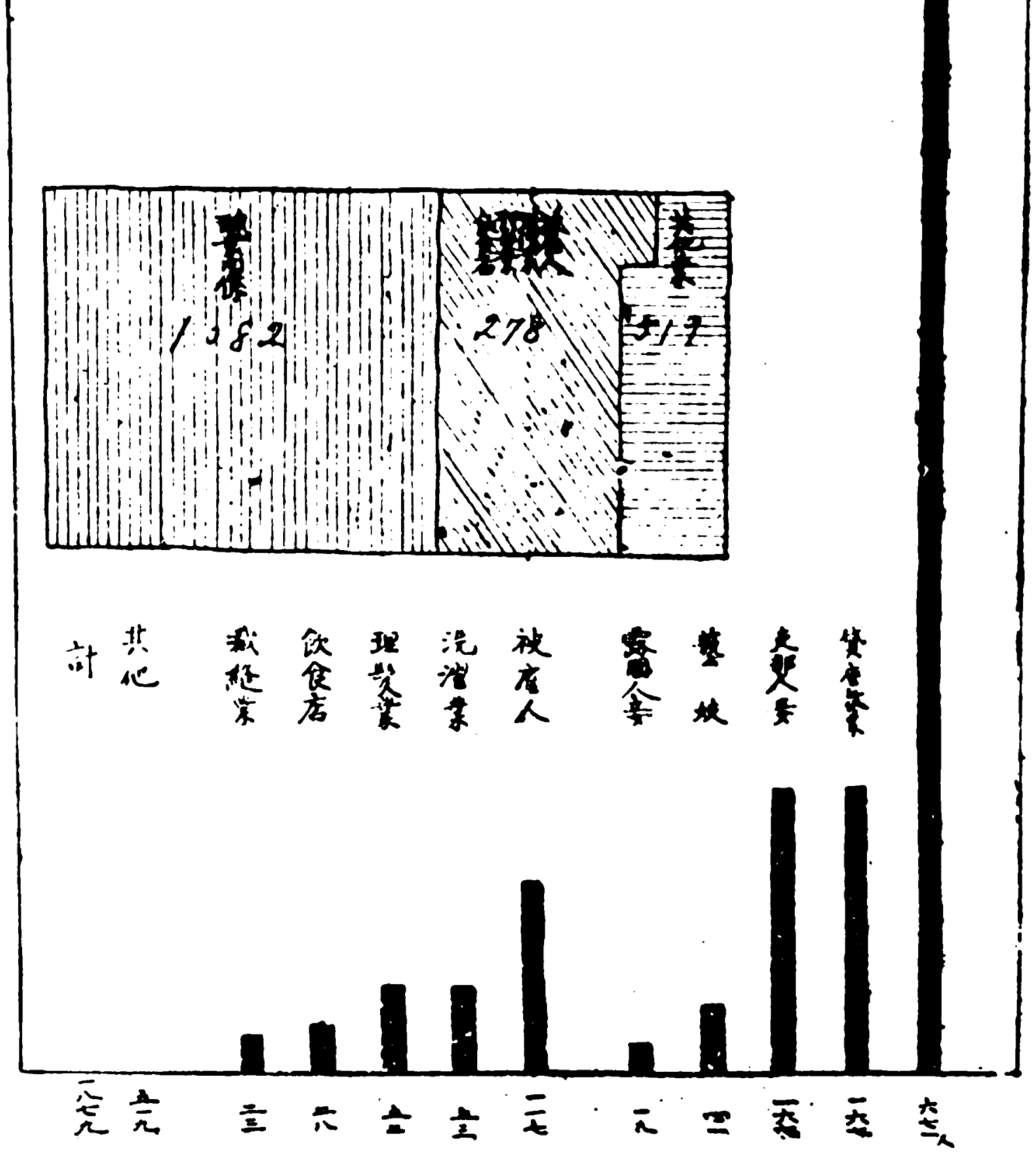
此表は内務省囑托布川靜淵氏が一年有半をシベリヤ各地に過して、日本醜業婦の動靜を綿密に調査されたものです。今回三姉を送るにつきても布川氏の御援助と御指導とは非常なる便宜を得ました深く私共の感謝する處であります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

露領極東在留本邦婦人職業別



哈爾賓管内在留本邦女子職業別



病床の廣岡刀自

嘗てなき輝けるその俤

小橋三四子

＊＊

廣岡刀自が逝かれてから、私は度々刀自の夢を見ます。そしてもう夢でなくては遇ふ事の出來ない刀自の俤を逐ふては、湧き出づるやうな淋しい涙にくれながらも、他方には刀自がふと物語られた言葉や、折にふれて戒められた事などが、意味深長にはつきりと心に蘇つて來て、さすがに傑出して居た方であつたと、今更らに感深いものがございます。殊に過る十二月十九日病床に就かれて以來、一月十四日の昇天迄二十七日間度々刀自を訪れては語り暮したその折の記憶は、私が殆ど二十年近く親しく刀自を知るものゝ中、未だ嘗てない輝かしいものでございます。

＊＊

刀自は元來過去の事を物語るのが大嫌ひでした。波瀾重疊の過去の經歴も、決して好んでは語られませんでした。「將來を望んで居るから、過ぎ去つた事などは忘れて終ふ」と云はるゝのが常で、甚だしきは御自分の誕生日さへ覺えては居られませんでした。數年前日本女子大學校の創立記念日に講演を頼まれて、三井捨子夫人と自働車に同乘して學校に向ふ途すがら、「けふは一體女子大學校には何があるのですやらう」と尋ねられたので、捨子夫人は「お姉様はまあ！けふはあなたの御盡力で出來た女子大學校の誕生日ではございませんか」と笑はれたとは、御自身私に語られたことで

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

した。随分話し好きの刀自は、終日でも厭くことなく話し續けられましたが、多くはそれが自身の修學修養に關したことでなければ、國家、社會の問題、近くは神の國の建設に就いての憂慮、計畫、希望でした。豐頬慈眼の刀自が談漸く眞劒な境に入るや、眼底から一種の鋭い光りが湧いて、奇警な言論が口を突いて迸しり出づるのは、壯快な劇中の人物を見るかのやうに愉快なものでした。

＊＊

いかなる折にも希望に生くる刀自には、絶えず進歩がありましたが、殊にこの度の病床に就かれてからは、一回毎に靈的經驗が深くなつたと云ふよりも、何となく泉のやうな靈力が溢れて、常のやうな慷慨悲憤の言論は一轉化して、しんみりした中に安らかな光明を望み、感謝に滿ちて居られたことは、今思ひ出でゝも、心地よい限りであります。「ほんとにお互ひは幸福だつたなあ！基督教を聞いて、神様の救ひに入つて、眞實の道を世界の人と一緒に歩んで行けるのだ」と申されたのは、臨終の二日前十二日の折の話でした。十數年前まだ私共が女子大學の學生當時、刀自は講堂で私共を前にして、「基督教は穢多村だ」と罵られた時、私は皆の中に起つてこれに反對したことを覺えて居ります。其の後數年、或る夏の後小石川三井邸の應接間で、刀自は「基督教には深い眞理があると思ふ、それに基督教信徒には、どうもどの方面でも人と違つた處がある、私は少し研究しやうと思ふのだ」と云はれた時、「あら、御後室さんが、あんな事を云はれてをかしい」と云つて、私の呵々大笑したこともはつきりと覺えて居ります。その頃の私は近世のいろ〳〵の學説にかぶれて、基督教などはもう黴が生えたものゝやうに考へて居たからでした。「後となる者が先きにな」つて、廣岡刀自が一直線に基督の救ひに進み行かれて後は、有り難い努力を以て、私を引張つて下さいました。そして迷夢を醒まして、眞の道に立歸らせて下すつたのです。私は刀自からいろ〳〵のお世話を受けた中に、この事はわけて感謝いたして居りましたので「ほんとう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

におかげ様です。生意氣に基督教は黴の生えたものだなどゝ云つて居た私が、けふの救ひを經驗することが出來たのは、導いて下さる方がなければ、とても駄目でした。」と申した時、刀自は嘗てない謙讓な態度で、「それはお互ひです。ほんとに不思議なお導きが加はらなければ、けふのやうな幸福は得られなかつたのだね、何よりも有難いことだ」と申されました。

***

その夕廣岡家の晩餐に招かれたファネス女史は、刀自と私と對談しつゝある時に龜子夫人其の他二三の人々と共に入つて來られました。そして一としきり支那問題社會問題を、常のやうな元氣で談じられました。

「今度はあなたの御專門を伺ひませう。天界にも地球上の人類にあるやうな戰爭即ち秩序を亂す變化がありますか」と刀自はファネス女史に尋ねました。女史は

「或る星が時々光りが薄らぐ時があるが、それは星の世界に何か變化がある時だらうと想像されます。」私はこの問答を大變興深く聞きました。そして刀自が幼兒のやうに强い求智心が、齡古稀に達しても、なほ病床中にあつても、少しも撓まない事をめづらしく思ひながら、私は幼い頃お伽噺を聞いたやうな心情に立歸つて、この一場の光景を見聞致して居りました。ファネス女史等は病床の刀自の疲れを察して程なく辭して歸られました。再びひつそりした刀自の室に「まあ、よろしい〳〵」と引止められて十時半迄を過しました。

「明日から大阪の客も歸つて淋しくなるから、また始終遊びに來て下さい」とお別れしたのが、遂に今生の見をさめ、聞きおさめであつたのです。然しあの二葉のやうに瑞々しい刀自の靈は、どうして其の肉體と共に死滅する事があり得ませうか、私は靈魂不滅、否靈魂の永遠の進歩を、けふ事實に於て教へられました。

***

同じく刀自の病床にありし或る日「生死は神樣の思召次第である。神樣は此の世になほ爲すべき仕事があれば、再び健やかにして下さるであらうし、天に於て使命があれば、直ぐにもお召しになるであらう。もし召さるゝ折は、引止めて下さるな、神樣に靈魂をお渡しする力添へをして下さい」と申されたその言葉は、死を急がれし刀自を稍もすれば悼む私の心を勵まし、願はくはその靈に祝福あれとの祈りを捧げつゝ、天國を憧憬する念を、增し加へられたことを感謝して居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迷信打破の栞

三輪田元道

左の文は三輪田高等女學校で印刷配布されたものです、同校が第二國民の母となる女學生を迷信より逃れしめやうとなさる御盡力と御親切とをうれしく思ふものです、讀者も一讀必ず得らるゝ處あるを信じて御許可を得記載いたしました（記者）

迷信ノ原因

第一干支、第二發音、第三傳說、第四聯想、
第五方便、第六曲解、第七邪教

第一類干支

干支十二支の動物はＡＢＣの如き符號に過ぎず、又十干は天地の元素を木火土金水と見て、之を兄弟に分ちたるものなれば、八十三元素以上まで發見せられたる今日に於ては無意味也。即ち六十一の還曆は、12と10の最小公倍數なるも若し12と83の曆還を求めんか、996年目となるべし。故に六十一は厄年にあらず、現に大正二年の死亡數を見るに下の如く、決して六十一歲の者が多く死するに限らず。

男女死亡數、六十歲の者…398.541人、六十一歲の者…380.557人、六十二歲の者…377.442人

亦世間に忌む丙午（ヒノエウマ）の人にても、男性に東鄉大將（弘化三年生）、女性に石黒男爵夫人くが子、森村男爵夫人きく子及び星野文學博士夫人きみ子の君等、幸福なる家庭を作りたるもの多き實例を引證せんか斯る迷信を否定するに足る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第二類發音

4989番の電話は(四苦八苦)と發音相通ずる故に之を嫌ふも、鰻屋が之を(ヨクヤク)として歡ぶ類、其他四十二は(死に)、十九は(十苦)に通ずる故に之を厄年と稱するも、死亡統計(大正二年)を見るに、何等大差なし。

男	四十一歳の死亡數		332.367人
	四十二歳	同	290.604人
	四十三歳	同	268.962人
女	十八歳の死亡數		478.680人
	十九歳	同	467.651人
	二十歳	同	454.166人

兎も角、人は何時も厄年の如く身を愼むべし。

其大鳥は(大取)、又酉の日は(取りの日)として歡ぶも、利己主義の發表に外ならず。

第三類傳說

鬼門の方角、友引の葬式、四目十目又は火性と水性の結婚を忌む類は、科學的根底なし。

例之は寅を鬼門とするは、角ある牛と、力ある虎を結付くると鬼を想像し得るが爲めのみ。

故に鬼門に建築して榮え、友引に葬式を出しても死人相續かず、四目十目の結婚なりしも、樂しき家庭を作る事實、特に鬼門は地球の南半面を研究せんか、此等迷信の無意義なるを悟り得べし。

第四類聯想

寅の千里歸るを想像し、此日結婚を忌み、丑は鈍き動物なるを認定し、此日着手せし裁縫は長引くとか。又西洋にても、十三の數及金曜日を嫌ふ類、其他合性も皆之に屬す。

併し合性の緣起を言はぬ西洋に離婚者少く、迷信の支配を受くる社會に、離婚者又は不幸の人多きを立證し、或は勉强せんか丑の日の裁縫にても、出來上ること速なる事實を示し、以て迷信を去るべし。又水曜日に雨が多いと言ふ類も、一年間の統計を示さんか其虛妄を明にするを得ん。

尙熊手は(かき集め)或は(かき取る)の符號として緣起よしとするも、全く兒戲に等し。

第五類方便

愚夫愚婦の敎訓に利用せし迷信多し、例之は、燧火を

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

打ち、鹽を蒔く類は、消毒を意味し。箒を跨ぐと、云云の類は躾と愼みの爲め、土用に鰻は、滋養の爲めなるも、文明の醫術を輕んじ、又人の勇氣を挫く類の迷信は不可也。否方便よりも正道を以て教訓するこそ文明式と言ふべけれ。

例之は家相の如きも、光線空氣及高燥等の原理より、科學的に考ふべし。最早今日は方便を以て教ふべき時代にあらず。

第六類 曲解

原因にあらざるものを、原因とする附會の說は信ずるに足らず。例之は我姓名の字劃を氣にする者あるも、之を羅馬字又は假名字にて記すことを假定し、或は同姓同名者の運命を比較せんか安心し得べし。又九星相同じきも、其運命相異るは宿命的關係なきの證也。

第七類 邪教

正しき宗教を信ずるは眞に好みすべきも、萬物の長たる我身を忘れて、下等の動植物等を崇拜し、恐怖し、又之に依頼する如きは、邪教の常なり、即迷信の爲腐敗したる水を飲んで病を得たる實例あり。要するに、誠の道にかなひなば祈らずとても神や守るべきを以て、濫に迷の心を起すべからず。即ち人事を盡して天命を待つべし。

新刊紹介

□濱岡達子女史著「一週一信」が婦人週報社から出版されました、初めに女史の小傳が記してあります、クリスチヤンとしての女史が日々感ぜられた事を一週一度週刊新聞に記載されたものであります、女史を識るも識らぬも此書を一讀されたなら女史の至誠、敬神奉仕の念を知る事が出來ませう、諸姉の御購讀をお勸めいたします、（定價七十錢）婦風會にて取次いたします）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

吊故廣岡淺子女史

守屋東

昨年大阪に開かれた大會の公會演說會の時、病軀を起し家人の止めらるゝも忘れて講演された事が、女史が會に對しての最後の演說でありました、本年の四月神戸の大會には是非行きたしと申された言葉も今は悲しみの思出になりました、茲數年の大會に於て全國の代員は親しく女史と語り敎を受けられましたが今や再び見ゆることは出來ないので御座います、昨年大會の席上に矢島會頭辭任の一書を提出され萬堂思に打たれ淚と祈と熱情とをあつめて會頭留任の相談を議したるとき同じく會の前途につき心を勞して祈り思を披瀝して留任を矢島先生に勸められし廣岡淺子女史は逝かれました。

會は決して一人の支配にあらず、會衆の團體なれば凡てを組織的に、充分の理解と運用とを敏活にする爲に、財力の必要を明示されて、其爲に先づ自分初に彈丸を送らんと寄附を約され、遂に人々を動かして財務部の活動となり基本金募集の計畫完成となり實行に着手せんとせし時女史は逝かれました。

女史の殘されたる事業は多々ありますが私共は我會に殘されたる女史の大なる賜につきて今深く顧み女史の無私なる奉仕に心は全く動かさるゝのであります、今後各方面の進步發達するとき其内に女史の死せざる靈力が婦人矯風會の上にある事を信ずるのであります、實に會頭が淚を以て述べられたる「よく廣岡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

さんは會を識つて下さつた」の一言は女史が會に與へて下さつた大なる賜であります。

逝かるゝ數日前見えし時の女史の温顔、温容今猶明に記憶に存します、豐かなる女史の賜を活用して天にある女史の靈に報ゆる日々を送りたきものであります、偉なる人を出したる其御一門、其御家族に女史が信じられたる神の祝福を祈るものであります（八、二、四）。

廣岡淺子略歴

嗚呼廣岡淺子は逝きぬ淺子は故三井三郎助の第三女にして嘉永二年九月三日京都油小路出水なる同邸内に生る生れて漸く二歳大阪廣岡家に許嫁の身となれり當時の風習に從ひ淺子は幼より主として家事及び遊藝を學びしが讀書は女子に無用なりとて其の切なる志望をさへ遮られ幼時は遂に修學の途を得ざりき。

慶應元年淺子齡十七約に從ひ廣岡信五郎に嫁す爾來同家の休戚は一切之を己が双肩に擔ひ終始一貫して毫も渝らざりしなり。

當時舊家の常として主人は多く家業に關與する事なく業務は概ね使用人に任ねて顧みず時運は日に月に家業の不振を醸すに至れり是を以て淺子は奮然立つて身を逆境に投じ家人を督勵して家運の挽回を圖ると共に遠く九州に於て炭礦業に着手し具に經營の困苦を甞む時維れ明治十七八年の頃なり當時廣岡三井の兩家共に冒險的事業なりとして之を忌みしも淺子は屈せず撓まず身を挺して之に當り終に多大の効果を收むるを得たり又廣岡家は兼て諸藩に對して累代金融の便宜を與へ居りしも維新の廢藩と共に一大頓挫を受くるに至れり是に於てか淺子は自ら少壯有爲の材を率ひ時勢の必要に應じて其の組織を改めたる加島銀行を益改善し以て家運の挽回に從事した

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り是れ明治二十七八年日清戰役の前後にてありたり。
是より先淺子は顧みて自己の經驗に徵し更に時勢の進運を察し我國女子敎育の必要を感ずる事甚しく此の一念は寸時も念頭を離れざりし也時偶成瀨仁藏氏より女子大學設立の企を聽き大に其擧を賛助し進んで後援の責に任じ洽く同志を天下に募り遂に成瀨氏をして其の目的を達せしむるに至れり。
明治三十七年夫信五郎逝く淺子時に齡五十六即ち家督を嗣子惠三に讓り自ら主として我國婦人の向上發展に貢献せん事を期し愛國婦人會矯風會靑年會等の公共事業に寄與する處ありたり。
齡六十に達せし時淺子の精神生活は一大革新を來せりそは基督敎の福音を學び深く悟り大に決する處ありしに因る一旦決心する處あるや淺子は年來の習慣を打破し一切の嗜好を斷ち克く謙遜の態度を以て神に對し亦人に對し基督信徒たるの誠を盡さんことを期し遂に明治四十四年十二月二十四日大阪敎會に於て洗禮を領するに至れり。
淺子領洗後爾三年を經過するや全國協同傳道の壯擧に會し挺身老軀を提げて東西に奔走し大に斯敎の發達に貢する處ありし事は內外宗敎家の均しく認めて壯とする處なり。殊に晚年に至つては宗敎的感化尤も深き其の人格に一大變化を來し家人も驚くばかりに溫柔圓滿の人となれり。
晚近健康を損して書齋に老を養ふや世を憂ひ人を思ふの念益厚く筆を呵して新聞雜誌に寄書し警醒の志を述べたり昨年十二月に發刊せる『一週一信』は實に其の衷情を披瀝せるものなりき。
舊臘以來身體稍異狀を覺えしも平素の元氣は更に衰へず臨終の前日迄は前途に對し種々畫策を廻らし死の眼前に迫れるを知らざるものゝ如くなりき然るに其の翌即ち一月十四日に至り病狀急變し人事を盡せる手當も其の効なく其の日午後八時溘然として終に永き眠に就けり。
想へば七十一年來神と人とに事へ勤勞須臾も休む事なかりし淺子の一生涯は同胞救濟の大志を齎らしたるまゝ終に永遠の安息に入りぬ。土より出でしものは土に歸り神より出でしものは神に歸る。今や淺子の英靈は肉體の羈絆を脫し天父の聖前に自由なる靈の交を享けんとて茲に昇天したるなり。噫。

懸賞論文

公娼全廢

参等

第七高等學校造士館　門田武雄

□社會—教育—學生

現代社會の問題なる公娼全廢に關し是を學生間に尋ねて學生が把持せる意見を徵せられんとするは彼等をして此問題に留意せしめ、相當の見解を抱かしむるにより、尠からず利益を與ふることを、想惟して趣意を滿腔より贊するものである。然し學生が此の公娼問題考究せなければならない社會は、全く高尙ならざるを今更痛感するのであるが、更に私は該問題が學生間に極めて眞面目に且つ闡明考究せらるべき、喫緊の問題であることを、確知してゐるのである。故に私は公娼に對する見解と全廢に關する意見とを學生としての立脚地より、求めんと欲するのである、又現在私として採るべき唯一の道であると思ふ。勿論學生の問題は直接社會の問題である。學生を德化する眞理は又社會を啓發誘導することを疑ないと共に、社會に弊害を及ぼす事項は又學生を毒することは論を俟ないのである。殊に社會を腐敗せしむる因習が學生の精神を浸蝕することに憑りて、社會の蒙昧なる一部人間が招致する道德的頽廢よりも、更に深き創痍を有機的社會に齎すことを明察せなければならない。學生は社會を組織する全部ではないけれども、學生の將來が社會の知的並に道德的範圍に於て、重大なる關係を有することを洞察すれば、學生の抱懷する知的概念及び道德的觀念の如何によりて、彼等が構成する將來社會を卜する事が能るのである。而して社會が學生の知的道德方面に至大の影響を及ぼすものなるが、彼等が時代の趨勢より超越し或は慣習の冥蒙より解脫して、必然的にして普遍なる眞理の體驗よりして、知的概念並に道德的觀念を得て始めて、社會に對すべきと思ふのである。彼等の本質よりの絕叫が社會の啓蒙となり改革となつて、陋固たる社會の誤謬を、妥當へ變轉せしむる偉力を包有してゐる事は歷史に徵しても昭明なことである。眞理に反對なる社會の醜惡を瞰視して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悲涙滂沱として流るは眞理に生んとする熱烈の欲求と、絶體美に至らんとする崇高な憧憬とが、裏切られたる刹那の心境であつて、放擲し難き欲求と、抑壓し難き憧憬の中から反抗の聲を叫ぶのである。改革の運動は起る、此ぞ眞に社會を救拯するの叫びである。此の學生にして社會の弊風に感染し本領を失ふに到りては、社會の改革否社會の健全なる存在すら何處に求むべきであらうか。學生は社會の改革者であり得ると共に、一歩を誤りては社會を腐敗せしめるものであつて、即ち建設の勇者であり得ると共に破壞の暴君ともなる、私は不幸にして學生間に改革者を出さんが爲には先づ第一に學生を改革すべき現狀であることを悲まざるを得ないのである。

公娼の如き問題も社會的の問題であるが又學生間にも考究せられなければならない問題である。

然かも眞理に生き絶體美に到るべき學生が其の意欲と願望とを根柢より枯死せしめつゝあるは、該問題の犠牲となりしに基くこと夥多なるを想起するの時戰慄せざるを得ないのである。

私は學生の無定見を恨むと共に、斯くの如き制度を默許し彼等を自滅せしむる社會を呪ふものである。學生をして健全なる發達より阻害し幾多の俊傑を虛無に附る無數の慣習が社會に介在してゐる、擧げて數ふるを得ざれども公娼制度は學生を毒する甚だしきものであると言ふも過言ではあるまい。

善良なる學生を涵養して有爲の青年の輩出を要求する社會が、他方に學生を墮落に導き青年を復歸し得べからざる狀態に陷るる慣習を認容する其の矛盾を、笑ざるを得ない。教育の普及を力策して惡習の芟除を看過せる社會は河川の淸淨を翹望して源泉に穢土の介在してゐることを忘却してゐると其の類を同じくせるものであるまいか。此の意味に於て社會は惡習を排除すべき義務を教育に對して負ふてゐることは、明確なる事實である。然し教育事業と社會惡習の芟除とは相關せざるが如き現狀に非ずやと、疑を抱くは社會を明察することによりて必然に起り來る結果である、公娼の問題に對し社會は如何なる措置を爲しつゝあるであらうか。勿論教育家は惡習に對し警戒怠りなく時として正鵠を失する程なるが、如何程の効果を齎したであらうか、否定的教育主義即ち『爲すべからず』主義に果して教育の本旨が完遂せられ得るであらうか。此等を思ふ時現代教育の缺陷を呪詛したくなる。惡習の排除——公娼の全廢——と教育との關係の決して尠からざるが故に現代教育を考察してみやう、『爲すべからず』と強行し訓戒する裏面には『爲しつゝあり』と云ふ事實を肯定せるものと云はなければならない、更に『爲しつゝあり』と云ふ事實は『爲し得べき』ところの動因の存在してゐることを推知せしめるのである、此の動因とは何であらうか。私は善良なる人格を構成する種々の要素に反對なる要素が動因であり、其の一は醜惡なる慣習であることを確信するのである、此の醜惡なる慣習の存在を前提として行ふ否定的教育主義即ち『爲すべからず』との教育が、學生を涵養する權威を有してゐるとは認められないのである。勿論倫理

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

學的又は倫理學的智識の附與を以つて、學生の知的概念の發達を方策することを得るけれども、現代社會の如く惡習の浴々として闖入して來る時、道德的觀念の薄弱を以つてしては、修得したる知的概念も不幸にして其の實現性を喪失して空理空論とならざるを得ないのである。現代教育の缺陷は道德的觀念の薄弱にあるのである。加之社會が惡習に對し無感覺であることは益々學生を邪路に彷徨せしめる原因となることを、窺知するに難くはない。若し社會が惡習の排除――公娼の全廢――を敢行しつゝあるならば此の否定的教育主義をさへ採用しても、軈て善良なる學生を教養し健全なる社會を生成する素因を作り得るのであるが。社會と教育とは全く是に反對してゐるのである。而して此間に於ける學生は教育の本旨に順應せる歩をなしつゝあるとは稱し難きも、なし得ざる其の缺陷の苦惱を憫察すべきものと思ふのである。

□公觀の弊害――全廢の急務

公娼問題を論ずるに先ちて社會の教育と學生の關係を略述し、現代社會の惡習が教育を誤謬に導き、學生を墮落に陷るを悲しめるが、惡習の一たる公娼の害毒を指摘し、此處に益々學生の根本的自覺の必要を力說し全廢の急務を主唱せんとするのである。

公娼制度の認容が如何なる影響を與ふるかを考究するに當り、立脚地を確定せなければならないと思ふ。公娼制度の發生に關する歷史的事實が、全廢の問題の前に於て如何程の權威があらうか。因習が招致する所の事物に對しての無感覺に由つて誤られたる概念を生じ、此事物のの解釋を爲すに當り、人々を誤謬に陷ることは屢繰返されることである。是に反して凡ての羈絆から解脫し眞理から發生したる概念に基く、批判が妥當なる見解を人々に與ふることは明なる事實である。されど人々の無自覺によつて認容せられんとする長き歷史を有する公娼問題に對し、內心の自覺から生ずる眞理の渴仰があらゆる傳統的な見解を除去し私をして是に反抗の聲を發せしめるのである。

若し必然性に根底を有せる生活を確立せんとする崇高なる意欲が、無い場合に於ては公娼問題を論ずるの必要を知らないであらう。否一般道德的問題並に是を啓發する宗教、倫理、の力を感じ得ないであらう。故に公娼問題を論ずるに當り私は此の崇高なる意欲の衝動によりて論じ、決して歷史的觀察の上に立つものではない。此の見解より出發するならば公娼制度が社會と教育と學生に及ぼす影響に闡明なる批判を下し得るのである。

公娼制度が害毒を社會に流し年々發表せらるゝ患者統計の中に公娼に起因せる病根に浸蝕せられて、哀れ健全なる身體を自滅しつゝある人間の莫大なる數に上れるを識る時、先づ第一に公娼が發生せし理由を考察するに先ちて、公娼制度の結果の如何に恐怖すべきものなるかを省慮するがよい。假令其の發生が如何なる理由に依據するとも、此の害毒を胚胎する公娼制度存在の理由を、妥當なりと認め得られやうか。公娼制度の默許によりて無感覺が誤謬の概念を與へ、社會の人々は言

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はずもがな克己心を破壞して幾多の學生が冥冥に陷りつゝあることを忘れてはならない。

若し知的見地に立ちて見るならば無智なる人間が遺傳性の人間に密接の關係があり、痼疾的遺傳性が如何に憂惧に耐へざるものなるかを知らざるを寧ろ憫察するのであるが、智識ある學生が此の事實を犯して公娼制度の犧牲になる無理想を惡まざるを得ない。

肉體的要求から發生したりとするも　反つて公娼が肉體を破壞しつゝある所に、明なる矛盾があるではないか、公娼が日々健全なる人間を犯し破壞されたる身體の遺傳性により將來に及ぼす結果、現象を豫測する時猶此の公娼制度の默許を看過し得べきであらうか。

若し精神的見地に立ちて見るならば肉體的損耗以上に寧ろ精神的潰滅の甚大なるに驚くであらう。肉體的損耗に對しては時として免れ得ることもあるも精神的なる死を來すことに對しては、人間は遁避し得る如何なる道をも、見出し得ないのである。人間には精神生活を忘れることは能ない。精神生活の如何なるものなるかを窺知すれば、公娼制度の斷乎として許すべからざるを確知することが出來るのである、先に述べたる崇高なる意欲は此の精神生活からの發露にして是を墓無にしては、何處にも精神生活の美を窺ひ得ないのである。

公娼の犧牲になることが如何に多くの害毒を精神生活に注入しつゝあるかを商量するがよい。先づ第一に負ふ所の創痍は貞操に對する道德的觀念の墮落である。

公娼の人格を認容するならば是れ貞操の蹂躙にあらずして何であらうか。彼等も一個の人間たる以上人格を有するは昭明のことであつて、若し彼等の人格を無視し得るものとするならば、其の人の精神生活の內容は薄弱枯灰なるものと云はなければならない然し無視することが、彼等の態度に依りて確證せらるゝを思惟すれば、彼等を此處に導きたる、公娼制度の認容に罪ありと、云ふべきである、公娼と共に公娼制度の認容が如何に害毒を流布するかを知り得るであらう。是を以てしても公娼全廢——制度排止——の急務なるは疑ふの餘地がない。彼等の貞操を蹂躙することは、軈て一般の貞操の無視となり蹂躙となるのである。貞操の尊嚴を主張しても此の現象を考ふれば何の日か主張完達を庶幾すべきであらうか。此の恐怖すべき危惧に耐えざる背德的の慣習に沈湎し、無意識の間に、芟除し得ざる道德上の缺陷を、胚胎しつゝある無定見を呪咀するものである。社會の道德は社會を組織する人によりて頹廢せらるるものであるまいか。私は社會が貞操を人格の喫緊なる要素とし乍ら、貞操を輕視せしめる習慣を與ふる公娼の全廢を社會に訴んとする者である。

私は特に學生が是が爲に遊學の道を誤り甚しきに至りては廢學の不得止に至れるを瞥見して、精神的の潰滅が彼等の崇高なる意欲を喪失せしめ、結果に起因せるを想起する時、悲しむべき人生の一頁を作り暗黑の時代を生じて、歷史を汚す此の敬虔の念なき思想を悲しむものであるが、又彼等を社會の惡習に感染せしむるが如き無氣力の教育を呪咀せざるを得ない。是れ教育の缺陷は道德的觀念の薄弱なる爲であり、學生の墮落は無自覺の結果である。

以上は公娼制度に起因する社會上の肉體的損耗を力說したのであるが、私は更に公娼制度の設置は果して人道的なるかを考究しなければならないのである。

公娼の悲哀凄慘の運命を想到する時、人生に對し社會に對し其の發する呪咀の聲の悲痛にして肺肝を刺すを感ずる。人をして快適に導くものも公娼をして悲痛に陷らしむるに於ては非人道と稱せざるを得な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

い。彼等には人格を認めんとしても認むべき何物をも所有しないのである。自由があるであらうか。權利があるであらうか。唯權力の前に屈從すべき義務があるのみである、彼等は奴隷と如何程の徑庭があるであらうか。若し彼等に心的生活がないならば此の不自由なる外的生活の中に憤死せなければならないであらう。公娼を認容する社會に反抗し得ない無氣力は完全なる道德からではない。慘虐なる非人道的缺陷を有して何處に人道の花開くべき希望があるであらうか。

出異觀是公娼制度の全廢が社會改革の上に於て重大なる問題なることを確信すると共に、學生を救拯するの道も是に外ならないことを主唱するのである。公娼制度の斯の如き背理的なることを闡明することに因て全廢の急務なるを斷言するのである。

□公娼全廢の道德―觀念―自覺と新光

先覺者により公娼の全廢は提唱せられた。幾多の宗教家道德家は全廢の運動を開始した。幾程の人間が此の提唱に耳を傾け、此の運動に身を捧げたのであらうか。私は此等の眞摯なる主義獻身なる努力が、功利的なる人間に蹂躙せられ、公娼の增大こそあれ、公娼を排除し得ざるを悲しむものである。社會組織を浸蝕しつゝある此の害毒、即ち恐怖すべき現象に關し、無關心なる二種の人あるを觀知する。一は是を利用することに職由して、利益を攫得する人間の無關心と、他は此に對し沒交渉なるが故に、無關心なるとの、二種がある。前者は人道を無視し、後者は人道に對する愛の缺げたるものなるを知らば、此の徒輩が如何にして社會改造の大事業に基く、社會の改善と、其に結果する社會的幸福を、享受することの賢明なるを洞察し得やうか。是れが爲に眞摯なる運動も此等の利己心と蒙昧とによつて阻害せられ、公娼の全廢が至難なるを嘆ずるに到り、今猶公娼の制度は續いてゐるのである。

然し公娼弊害なる制度にして國家の休戚に關する結果を胚胎しつゝあることは確知してゐるのであるが、此の制度の存續を許容する社會は道德的觀念に對して眞面目なる良心を有せざるものと、推斷せらるのである。此の推斷よりして公娼全廢の新しき方策を、發見し絕望的な悲觀的な心に新しき希望を與へて更に旺盛なる運動を起すべき勇氣を感ぜしめるのである。

從來の全廢運動に缺陷を指摘すれば公娼の個人的救濟の必要、或は單に畏怖すべき結果を招致するを以て、全廢を絕叫するに止り公娼其の者の泯滅を來せば足れりとし、公娼絕滅するも猶此の害惡を社會に醸さんとする人間の道德性の缺陷の救濟によりて根本的刷新を擧ぐるの道を採らざりしは、其の缺點と稱すべく、私は道德的觀念の向上に因りて、社會の人々が自發的に公娼の誘惑から超脫し、公娼をして自滅する運命に陷ることは、外部的改革と共に相濟けて眞に公娼の全廢の實を擧ぐるに到ることを主唱するのである。罪惡より救拯して光明と和煦とを與ふるの道は罪惡の根源を撲滅し其の境遇を變化改善する所の道であつて、更に人々を、第一義の生活に轉向せしめ得る力を、包有してゐるものでなければならない。墮落に沈湎して苦楚せる人々の醜惡な狀態をのみ痛罵するにあらずして、根本の缺陷を排除し罪惡の煩惱より――暗黑より――光明に誘導してこそ、眞に同情者の熱涙に共鳴し得らるるのである。此の道こそ、眞に救拯の法悦であるまいか。

公娼の全廢によりて社會の改善を計るに當つて私は此の道によりて覺醒せられたる人々の、道德的觀念に訴へて始めて其の實現の花を開くことが能ると思ふ。私は此等を以て十全の方法とは考へない。なぜな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れば以上の凡ては個人が、自覺に到達する爲の知的概念の發達、並に道德的觀念の向上さを、誘致するに過ぎず、眞の社會改革——公娼全廢——は個人の自覺に發して始めて効果あらしむるとが能るのである。公娼は惡習なりさ確知しながら、人人の公娼の誘惑に屈從したるは自我の不徹底薄弱に基くのであつて、自覺なき結果である。

斯の如き自我に由來する人間の生活の何處に、美を體驗したる生活を發見し得やうか、社會の惡習敎育の缺陥に斧鉞を下さんさする以上に、更に此薄弱なる自我を征服しなければならないのである。是を逆說すれば『自我』を浸蝕する惡習——公娼——を撲滅すべき必要を思ふのである、學生は岐路に立つてゐる、而して意志は弱い。若し青年學生を愛するならば彼等の此の憂惧に耐へざる缺陥を補助し、彼等の心眼を開明し崇高なる意欲に出發し理想に向つて行進するやうに、至愛の序曲を奏してこそ學生を思ふ者さ稱すべきである。徒に青年の墮落を痛罵するなく、自覺へさ青年を誘導すべきであるまいか。元より自覺は青年自身の體驗に俟つべきではあるか、自覺へさ啓發するこそ改革者の道である。

公娼全廢——それを道德性に訴へて公娼全廢を實行し、更に道德の命令が斷乎さして、此の種の弊害の發生を禁ぜしむるが如き社會を建設せんが爲に、全廢の運動さ共に、知的並に道德的發達の向上さを方策するが新しき公娼全廢の方法である。科學は叡智さ眞理さを示し宗教は理想さ信仰を與ふ、而して兩者に根滯づけられたる知的道德的確信が擧世此改革の運動に向はしめ此處に文明社會は現出されるのである。社會に自覺を與へ確信を起さしめよ。眞理の燈臺から放射せらるる新光によつて自覺の道を—確信の道を—驀進する時到達の彼岸は道德の國である。公娼の制度は此の國より驅逐すべき第一の惡習ではあるまいか。

□大正五年後の公私醜業婦増減

救世軍士官　伊藤少校

貸座敷娼妓表

名稱	大正六年末 娼妓數	大正六年末 貸座敷數	大正七年末 娼妓數	大正七年末 貸座敷數
新吉原	二、四五五人	二九二	二、三五一人	二九〇
洲崎	二、〇〇二人	一八二	一、九四〇人	二五〇
品川	四三二人	四六	四一三人	四六
新宿	五四三人	五三	四六〇人	五三
板橋	一三一人	一三	一二三人	一三
千住	一一二人	一五	一〇〇人	一五
八王子	九六人	一四	九九人	一四
府中	六六人	一〇	七〇人	一〇
合計	五、八三七人		五、五五六人	七九一戸
大正五年ヨリ増加	百十二人	前年ヨリ二	二八一人	

□藝妓は過去七年間に三千二百十七人増加

藝妓待合藝妓屋表

	大正五年末		大正六年末		大正七年末
藝妓數	五、五〇三人	増加 八〇〇	六、三〇三人	増加 一五三四	七、八三四人
待合	一、三三一戸	増加 六二	一、三九三戸	増加 一〇五	一、四九八戸
藝妓屋	二、一六七戸	増加 一九六	二、三六三戸	増加 四一四	二、七七七戸

藝妓屋部落
新橋烏森　柳橋　赤坂ノ如ク數ヘテ大凡三十五所

矯風會基本金

N・O・K

一　數年來、チラホラと、會には基本金が必要だと云ふ聲が、あちこちで聞えて參りました。然し何等明瞭な案も立ちませんでした。昨年となり、故廣岡姉が東京に見えられて、頻りに矯風會の財源について心配して下さいました。丁度其頃淺田みか子姉が、又同じく矯風會の財源と云ふ事に苦心せられまして、基本金の問題を提出されました。

時機到來とは此の事でせう。議が一度登るや、忽ち滿場一致で其必要を認むる事となりました。次で常置會毎に、一歩々々と話は熟して、終ひに此度の決議の如く

一金拾萬圓也

を向ふ三ヶ年間に募集すると云ふ事に一決致しました。

二　拾萬圓を得れば、如何に内輪に見積つても年額五千圓の利子は得られませう、之れで先づ支出豫算と、集金方法の豫算を立てました。然し之れを全國の支部に訴へて實行に取掛るには大會の協贊を經ねばなりませぬ然し大會はいつも非常に多事多忙で、充分熟議を凝らす暇が有りませぬ、故に、矯風會開闢以來のレコードを破つて、特に大會前に全國から九名の方々を選出して、本部財務委員に加はつて相談を願ふこと、なし、一月廿二日三日の兩日を卜して上京を御依賴致しました。御招きした方々は、大阪の林姉、神戸の城姉、京都の長安姉、横濱の二宮姉、大橋姉、上州の牛田姉、長崎の奥姉、弘前の高谷姉、呉の十時姉、この九名で御座いました、然し種々の御都合で御斷りが多く、林、城、二宮の三姉丈けがお集り下さいました。

兩日間本部役員、財務委員、常置員は皆出席して、種々熟議を凝らしました。詳細に亘つてはいづれ手紙を以つて各支部に申上ぐる事とし、基本金募集と云ふ企てが始められた事と、其爲めに全國から委員が集まられたと云ふ事丈けを御報道して、皆様の御祈りを願ひます。

廓淸會懇談會

二月一日午後五時より青年會館三階に於て廓淸會の新年會及理事會開催、會を代表して守屋姉出席、當日本年に於ける具體的運動として明示され可決したる三項左の如し。

一、人身賣買に關する規定の法律

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の實行を其筋へ具申する事
一、遊廓内に酒店の營業を許可せざる事
一、人種平等を實現する目的のために在外國醜業婦の取締を其筋に請願する事

是等の問題を益富理事提出されたる後來會の片山醫學博士三輪田元道氏西村護辯士、高岩氏等の十分間演說ありたり。

本年度の運動費として千圓餘の募金の件出で

一、壹百五拾圓也　高岩氏引受
一、壹百圓　島田三郎氏寄附
一、貳十圓　三輪田元道氏寄附

最近歸朝されたる平岩監督の米國移民に對する有益なる感想談ありたり、會長島田三郎氏司會の下に會合會食し有益なる集會なりき。

財務部相談會

一月廿二三日の兩日本部に於て開く、上京せし代員は大阪支部長林うた子、神戸支部長城のぶ子、橫濱支部長二宮わか子及本部財務部長島田のぶ子、委員淺田みか子、田口竹子、本部會計小崎千代子他本部常置員出席

一、基本金拾萬圓募集の件
一、本部の活動の資金費制定の件

以上の二件を兩日に亘りて熟議協議し、本年の大會に財務部の提出案として出す事に決定す。

當二日間の接待其他は凡て家庭部の役員によりてなる。

此臨時委員會に於て特に記載すべき事項は、林大阪支部長に改めて本部に來り總幹事の重任を荷はれん事を提案した事であります、同姉は神の聲を聞かば喜んで東上すべしとの事、一同は非常なる希望と滿足とを以て此會が好機を與へし事を感謝しました。即ち矢島會頭は會頭留任を承認され、林大阪支部長本部に入りて幹部の重任を持さる丶事に決定せば、全國の姉妹は初めて安き思を以て今後の努力奮闘をなし給ふ事を信ずるからであります。

各地通信

前橋支部

十二月中支部長ペットレー夫人同副支部長辻次枝夫人京都へ轉住され候に付一月廿五日新年會を開き役員の改選を行ひ次の如く決定致し候。

支部長　ミス、フアンニー、グリスオルド
副支部長　金子おなじ

當日は出席者多數にて近來の盛會にて有之候。

（書記青柳みや子）

高松支部

平和の新春を迎へさせられ貴會益々御隆盛の段賀奉候、當支部に於ても會員一同希望を以て年を迎れ去る廿四日には支部設立滿一ヶ年に相當いたし候に付當日午後二時より三番町日本キリスト教會に於て祝賀記念會相催し、松原令村剛牧師の講演を承り過去一ヶ年間の神の恩寵

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を感謝し併せて本年度に於ける抱負を語り合ひ申候過る一ヶ年間は未だ何のなすべき事多からず候ひしも、本年は神の御導きの下に會員一同主義の爲め働かんと決心いたし居り候。（書記笠井はつ）

松山支部

一月十八日新年祝賀親睦會午後一時より大街道組合教會を拜借して支部の新年祝賀會を開く、家庭の都合上出席者廿餘名なりしも一同うちとけて美しき集會を爲す、東司部長の司會にて讃美、聖書朗讀祈禱を捧ぐ。書記會計の報告終りて縣立自彊學園長松井豐吉氏の禁酒講演ありき、支部長パミリー姉の蘭國の捕虜に行なはれし愛の行は大なる禁酒傳道となりたる事實を知り、かゝる名譽ある支部長を戴く幸を感謝せり。（書記小崎）

本部

二月三日本部常置員會開催、出席者、矢島楫、宮川せき、伊藤さみ、久布白落實、淺田みか、藤井かう、守屋東

相談事項、一、大會の執行委員選定

二、財務部の報告及運動方針につきて

A. 趣意書

B. 委員會開催の件

三、シベリヤ視察の件

クリテントン救濟團

二月一日救濟團の臨時役員會開催、出席者理事、矢島楫、波瀬かめ、クラゲット、スペンサー、ペンロット、守屋東、ライシャー、ワイコフ、サンダー、クローソン、特別委員、久布白、ブラッセア、伊藤秀吉、益富政助、宮川靜枝、市川氏、矢島理事長の祈ありて後内外書記は規則を朗讀す、スペンサー姉議長として議事をすゝむ。

相談事項

一、シベリヤに於ける醜業婦の動靜、其他視察

一、軍隊慰問及視察の委員として林歌子、宮川靜枝、クラゲットの三姉を擧ぐ

千圓　　　青年會慰問部

六百五十圓　各處より寄附

編輯室より

エー、ムエ、

□再度の流行感冒は東京を烈しく見舞、會員會友の家庭に悲しい出來事を殘して走つてゆきます、幸本部は會頭初め一同無事御安心を願ます、麴町支部の加藤咲子夫人が愛兒と共に又今治支部長露無牧師夫人等いづれも今回の流行感冒の爲めに眠られました。

□昨年より本年にかけて殊に會員中の牧師夫人を失ふ事の度々なるには一同心より御同情申て居ります、太田、栢木の兩牧師夫人を失ひ、大阪の馬場牧師夫人、今回の露無夫人、牧者の家に神の與へ給ふ悲しみは牧にる、羊の此上もなき痛みで御座います。

□宮川靜枝姉をシベリヤに送る事になつた同人は大に忙しさを増しました、然し同姉得意の通信が紙面を飾る日を樂しみに喜んで同姉を送ります、視察の目的が在外賣淫婦についてといふのでありますが、索漠たる白雪のシベリヤに鈴を付けた橇で往來さるゝ感想は又美はしいものとなつて拜見出來ませう。

□新報の古いものを傳道用に御使用下さるやうな場合は喜んで御送りいたします、御遠慮なく御申越し下さいませ、例會の通信は出來る丈、廿五日迄に御送りを願ひたいと存じます、大會も近づきました、また遇ふ日も二ヶ月の後で御座います、御健康を祈ります。

□□會告□□

キリスト敎婦人矯風會第廿七回大會は昨年大會に於て決定せる通り神戸支部所在地神戸市に於て開催。

□時日　大正八年四月一日—四日迄

□場所　神戸市山本通神戸女學院講堂に於て。

□注意

一、滯在費　一日分金七十錢也

一、宿泊所、神戸女學院寄宿舍

一、寢具の準備はありますが毛布等御持參あれば甚だ幸なり。

一、下車驛は三ノ宮停車場最も便利なり。

一、大會に提出されたき議題は二月末迄に本部に郵送せられたし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

created an unparalleled opportunity for the Church to give fuller expressions to the attitude of Jesus in our natioanl life.

1. *Sins Against the Child:* The facts of preventable child mortality and disease, mental and physical defects, ignorance and illiteracy, shame and impurity, untrained workers, vacant playless lives, poverty and slums, in this nation are startling. Our governments—Dominion, Provincial, and Municipal—have a responsibility they have not adequately met, and this largely because of the indifference of the great mass of average folks that are thinking of themselves:

> "Of themselves and none baside,
> Just as though Jesus had never lived,
> And as though He had never died."

What is necessary to-day is a message from the Christian Church, stating in concrete and explicit terms the results of this indifference in premature morality, disease, defects, retardation, illiteracy and inefficiency. Only this will convince the people that indifference to human welfare is cruel sin. Realizing the facts, we must sincerely repent and humbly confess our sin; consecrate ourselves to the great Christian task of both saving life and affording equal opportunity for the normal development of every child.

Sabbath Obserances: Whereas the British Government has reported that a weekly day of rest has resulted in greater national efficiency and increased production;

And whereas the work of the Lord's Day Alliance has secured to more than 60,000 workers in Canada a weekly day of release from toil;

We therefore express the hope that our people in their capacity as citizens will endeavor to see that no toilers in Canada are robbed of their weekly day of rest;

We strongly urge our people by personal influence and example to strengthen the forces making for the preservation of the legalized day of rest as an asset of the Lord's Day Alliance to the sympathy of our people.

Prohibition: For the almost a century the Methodist Church has been the aggressive enemy of the legalized "drink" traffic, and one of the most insistent agencies in demanding the overthrow of this most terrible curse of our civilization. It is therefore a cause of gratification that to-day practically the whole of Canada and Newfoundland are under prohibition.

The beneficial effects of prohibition have already been felt in all lines of note that when the Federal Government put Victory Bonds on the market the asked for was soon over-subscribed, showing the optimism and prosperity of our people. All over Canada and Newfoundland drunkenness has almost vanished and crime of all kinds has decreased to a remarkable extent.

Much of the recent legislative in character, being for the duration of the war. The great and final battle will be fought after the war is over. The Order-in-Council whereby the manufacture and importation of and interprovincial trade in intoxicating liquor for beverage purposes were prohibited has been the great event in the history of Canada. The benefit derived therefrom has been so marked that we asked that legislation be enacted at the earliest possible date which will make Dominion Prohibition the law of the land.

We recommend that a vigorous propaganda be carried on till our statutes contain a law that will absolutely prohibit the traffic in alcoholic liquor for beverage purposes.

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

FUJIN SHIMPO

To Him Who Wills

you think your'e eaten, you are;
If you think you dare not, you don't:
you'd like to win, but think you can't,
It's almost a cinch you won't.
you think you'll lose, you've lost,
For out in the world you find
Success begins with a fellow's will—
It's all in the state of mind.

Full many a race is lost
Ere ever a step is run,
And many a coward fails
Ere ever his work's begun.
Think big and your deeds will grow;
Think small, and you'll fall behind;
Think that you can, and you will—
It's all in the state of mind.

If you think you're outclassed, you are;
You've got to think high to rise;
You've got to be sure of yourself before
You can ever win a prize.
Life's battles don't always go
To the stronger or faster man;
But soon or late, the man who wins
Is the fellow who thinks he can.

List of Dr. Stall's Books recommended in Last Issue.

" What a Young Boy Ought to Know " $1.00
" What a Young Man Ought to Know "..........1.00
" What a Young Husband Ought to Know "...1.00
" What a Man of 45 Ought to Know " 1.00
" What a Young Girl Ought to Know " 1.00
" What a Young Woman Ought to Know " ...1.00
" What a Young Wife Ought to Know "...... 1.00
" What a Woman of 45 Ought to Know " ...1.00
" Husband, Wife and Home " 1.00
" Five Minute Object Sermons to Children "...1.00
" Talks to King's Children " 1.00
" Manhood's Morning " 1.00
" Faces Toward the Light " 1.00
" Marvels of Our Bodily Dwelling " 1.20
" Gleig's Wonderful Book " 1.80
" Bible Selections for Daily Devotion "..........1.20
" Maternity Without Suffering "..................1.50
" We Young Men " 1.70
" The Social Duty of Our Daughters " 1.35
" Before Marriage " 1.25
" The Bloom of Girlhood "...........................1.25
" Parental Honesty " 1.50
" The Daughter's Danger " 1.25
" Letters of a Physician to His Daughters "...1.50
" God's Minute " 1.35

The following are some Extracts from the Report of the Department of Evangelism and Social Service adopted by the General Conference of the Methodist Church of Canada, at Hamilton, Centario, 1918.

Protest Against Laxity in Prohibition:

Whereas a press despatch this morning (Oct. 11th) states that a movement is inaugurated to "lift the ban upon liquors," as a preventive to the spread of influenza;

And whereas the Provincial Health Officer of Ontario urges that total abstinence from liquor is one of the best methods to prevent and combat the disease, in which advice other prominent medical men have concurred;

Therefore, in the interest of the public health, and because of the danger of opening the door to general use of intoxicants as a beverage,

This General Conference protests to the Federal and Provincial Governments and to the Government of Newfoundland:

1. Against the Government taking any such action; and

2. Against any laxity of law enforcement in respect to prohibitory legislation now in force.

Child Welfare: The attitude of Jesus towards the child is set forth in His symbolic act, when in response to the question of His disciples he set "a child in their midst"; and again, when He told them, "It is not the will of your Father in Heaven that one of these little ones should perish." The sense of human solidarity and of national necessity developed during the war has served to emphasize the supremacy of our human as contrasted with our material resources, and has

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察―毎朝毎夕(但祭日及日曜の他)

院長診察月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副院長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地(市ヶ谷見附內)

電話六二番
番町五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)

河野、高橋兩副院長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後、入院診後應需

診察―毎朝(但祭日及日曜及土曜日の他)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ライオン齒磨

兹に光輝ある新年を迎へて
大方各位の御清福を奉祈候

舊年中は深大の御同情を賜はり弊店組織の變更、銷路の擴張、工場及び試驗所の完備等恐く感激に堪へざる儀に御座候
隨つて ライオン齒磨 ライオン石鹼 製品各種愈向上して日に月に世界の信用を高め店員一同努力報謝の一念に充實致居候次第重ねて御禮申上候

頓首再拜

大正八年一月元旦

ライオン齒磨 ライオン石鹼 本舖 株式會社 小林商店

本　舖　東京市本所區外手町
支　舖　大阪市東區博勞町
地方倉庫　名古屋市西區藥名町

婦人新報第二百五十九號（第三種郵便物認可）（毎月一回發行）【本誌一部定價金九錢】